



紹介者

**草野 隆史**

ブレインパッド  
取締役社長

**寺田 航平**

寺田倉庫  
取締役社長CEO



## 私はアートに詳しくない

アートをビジネスにしている会社の社長の発言とは思えないが事実である。

寺田倉庫を2年前に引き継ぐまで、私は18年間自分で創業したビットアイルというデータセンター事業を営むベンチャー企業で起業家として生きてきた。当時はアートに接する興味もなく、美術館などは生涯で4、5回しか訪れたこともないほどである。

しかし、いざこの業界にかかわってみると、日本のアート市場の持つポテンシャルの高さを強く感じる、と同時に業界全体に非常に大きな改革余地が存在することに大いに驚いてしまった。

市場成長への壁となっている複数の要因を取り払ってしまえば、この市場は一気に成長できるのではないかという思いが高まり、私のベンチャースピリットに火がついた。この2年間で振り切れたようにアートにかかわるサービスを創ってきた。コレクターのためのアートミュージアム、トップギャラリーが集積するアートコンプレックス、若手アーティスト支援のためのアートカフェ、1点月500円から預けられるアート保管、関税を払わず海外作品を見せることのできる保税ギャラリー、アートアワードの設立、アートニュース配信およびアートコンサルティングの法人設立、アートを中核としたまちづくり団体の設立、などなど、自分でも驚くスピード感で自社のアートビジネスを加速させている。

この世界に身を置いていると、自分のビジネスの感性すらも大きく変わろうとしていることに日々驚いている。これほどアートという存在が、自らのライフスタイルを豊かにし、ビジネスの感性を磨き、そして新しい刺激を与えてくれる存在になるのかと、アートに触れる機会を与えてくれたこの会社にもしろ心から感謝をしたい。

昨今では、起業家を中心としてアートコレクターの方々が一気に増えている。多分ほとんどの方々が、私が感じているようなことと同じような思いを抱かれているのではないかと思う。これからの30年は、心の価値がお金の価値を上回ってくるような変化が起きてくると私は信じている。人々の心の価値を高めるサービスを提供してゆくためにも、経営者の方々にはぜひアートへの触れ合いを強くお勧めしたい。

▶▶ 次回リレートーク

**大久保 和孝**

大久保アソシエイツ  
取締役社長